

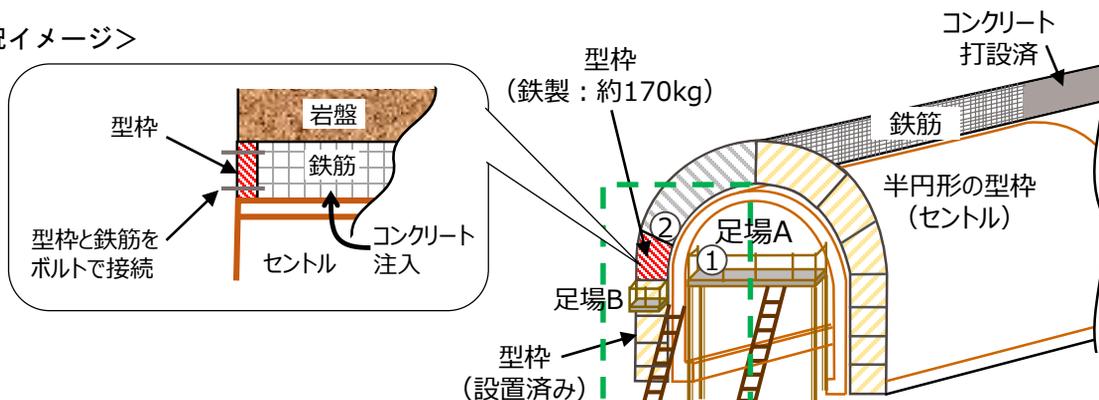
大飯発電所3、4号機 トンネル工事中の協力会社作業員の負傷 に対する原因と対策について

調査結果

(負傷した作業員の動き)

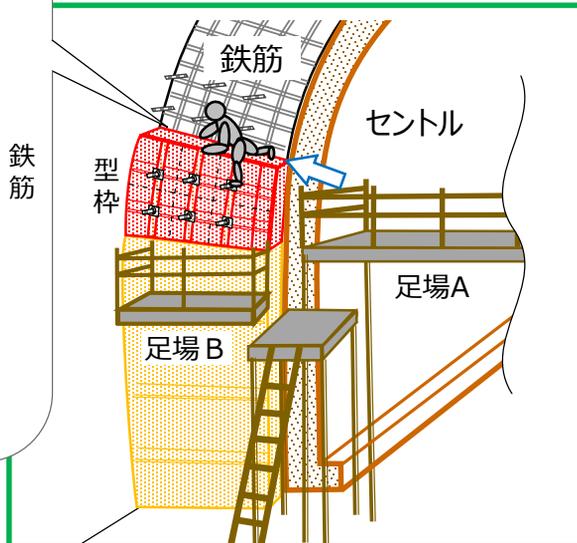
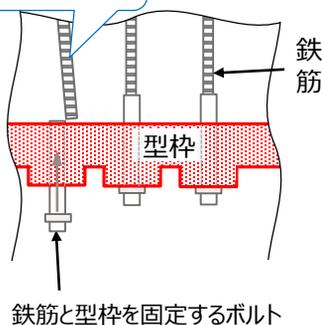
- ①型枠を設置するため、固定用のボルトを型枠の表側から挿入し、裏側の鉄筋に取り付けようとしたところ、鉄筋の位置がずれていたことから位置調整を行うこととしました。
- ②足場上からは型枠裏側に手が届かなかったことから、「足場から身を乗り出して作業しない」というルールを定めていたにもかかわらず、足場Aから身を乗り出して型枠に登り、調整作業を実施しました。その後、型枠上から足場Aに戻ろうとした際、約4m下のトンネル底面に転落しました。

<作業状況イメージ>



型枠設置状況イメージ
(上から見た図)

位置調整が
必要な鉄筋



原因

型枠を固定するための鉄筋の位置調整を行う際、「足場から身を乗り出して作業しない」というルールを定めていたにもかかわらず、足場から離れ、型枠に登って作業を実施したため、高所から転落したものと推定しました。

対策

足場上で型枠の取り付けや調整が行えるよう、足場の位置を変更すること等を作業計画に反映しました。